

□ 年 □ 組 □ 番 名前 □

教材 1-G-(1)の解答 古代から中世までの文化史

次の(ア)～(セ)の間に答えなさい。

(ア) 飛鳥文化にもっとも関係の深いものを、下の①～④の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 広隆寺弥勒菩薩像 ② 東大寺南大門金剛力士像(鎌倉)
③ 唐招提寺鑑真和上像(奈良) ④ 平等院鳳凰堂阿弥陀如来像(平安)

(イ) 飛鳥文化にもっとも関係の深い寺院を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 平等院(平安) ② 東大寺(奈良) ③ 法隆寺 ④ 唐招提寺(奈良)

(ウ) 天平文化にもっとも関係の深い人物を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 聖徳太子(飛鳥) ② 藤原道長(平安)
③ 蘇我馬子(飛鳥) ④ 聖武天皇

(エ) 天平文化の作品で和歌を集めたものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 日本書紀(歴史) ② 古事記(歴史) ③ 万葉集 ④ 風土記(国の記録)

(オ) 奈良時代の仏教の様子にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。
② 末法思想の流行から阿弥陀如来の信仰が貴族の間で広がった。(平安)
③ 真言宗や天台宗などの密教が受け入れられ、山間で厳しい修行を積んだ。(平安)
④ 仏教を受け入れるかどうかで豪族間で争いがおき、蘇我氏が勝利した。(飛鳥)

(カ) 藤原氏が政治の中心だった頃の仏教の様子にもっともあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。
② 末法思想の流行から阿弥陀如来の信仰が貴族の間で広がった。
③ 真言宗や天台宗などの密教が受け入れられ、山間で厳しい修行を積んだ。
④ 仏教を受け入れるかどうかで豪族間で争いがおき、蘇我氏が勝利した。

同じ選択肢でも、問題の聞き方によって解答が異なります。答え合わせの時に正解か誤答かだけでなく、それぞれの選択肢の内容を復習してみよう。

(キ) 平安時代の頃の文化で「源氏物語」にもっとも関係の深い人物を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①紀貫之(古今和歌集) ②清少納言(枕草子)
③紫式部 ④最澄(天台宗)

(ク) 古墳時代に伝えられたものとしてあてはまらないものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①仏教 ②かな文字(平安時代・日本で成立) ③儒教 ④漢字

教材2「外交の様子」で学習した、遣唐使の廃止に大きく関わっています。日本独特の文化です。

(ケ) 平安時代のものとしてあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①法隆寺五重塔(飛鳥時代) ②東大寺大仏(奈良時代)
③東大寺正倉院(奈良時代) ④平等院鳳凰堂

教科書や資料集などで、実際のものを写真で確認してみましょう。(ア)(イ)なども同じです。

(コ) 次の〔 〕に最も関係の深いものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

〔から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして
(防人の歌)〕

- ①日本書紀(天平文化・歴史書) ②古事記(天平文化・歴史書)
③万葉集(天平文化・和歌集) ④風土記(天平文化・国ごとの記録)

(サ) 平安時代に活躍した人物にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①紀貫之 ②鴨長明(鎌倉) ③藤原定家(鎌倉) ④運慶(鎌倉)

(シ) 鎌倉時代のものにあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①古今和歌集(平安) ②源氏物語(平安) ③枕草子(平安) ④徒然草

どのような書物か、作者は誰かなど、一覧表にまとめておくことも有効な方法です。

(ス) 室町時代の頃に完成し今日にも影響を与えているものとして、あてはまらないものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①水墨画 ②書院造り ③歌舞伎(完成は江戸) ④狂言

(セ) 鎌倉時代に成立した浄土宗の開祖にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

①親鸞(浄土真宗) ②一遍(時宗) ③法然 ④道元(曹洞宗)

鎌倉時代は多くの新しい仏教が信仰された時代です。開いた人物や宗派・寺の名などをまとめておきましょう。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	③	④	③	①

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
②	③	②	④	③

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)
①	④	③	③

それぞれの説明文を、教材8-①の表にあてはめて記入してみよう。
時代ごとの文化の特色を、まとめることができます。